

# もぐらたたきからの脱却 品質工学講演会の御案内

製造業では、ユーザーのニーズにマッチした魅力的な製品を生み出すことも重要ですが、その製品を低コストで製造上のトラブルも市場クレームも起こさせない、安定した設計・製造技術を開発することも大きな課題です。

従来の対策では、品質特性のトレードオフにより、1つの問題を解決してもまた新たな問題が発生し、いわゆる“もぐらたたき”に追われるケースが多く見られます。

この“もぐらたたき”から脱却し、問題が起こる前に将来起こるかもしれない多くの問題の防止に役立つ、高品質と高生産性を同時に実現するための具体的な技術的方法論が、品質工学なのです。

京都府中小企業技術センターでは、企業の垣根を超えて技術者が品質工学を学び、交流する場として、平成7年から京都品質工学研究会を開催しています。毎年約30社40名を超える会員が具体的な技術課題への適用事例について研究・討論を行う、参加型の研究会を目指しています。

この度、平成20年度京都品質工学研究会の活動開始に先駆けて、企業の経営者やまったくの初心者にも品質工学を身近に感じてもらうための講演会を開催します。

<b>日時</b>	平成20年5月23日(金) 13時30分～16時30分
<b>場所</b>	京都リサーチパーク東地区 1号館 4階AV会議室
<b>テーマ</b>	<b>「経営戦略として品質工学を考える」</b> 元コニカミノルタホールディングス取締役・元品質工学会副会長 <b>小板橋 洸夫 氏</b>
<b>参加費</b>	2,000円 平成20年度京都品質工学研究会会員は無料
<b>定員</b>	60名
<b>[申込先]</b>	(社)京都経営・技術研究会 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業支援センター内 電話：075-312-0418 FAX：075-312-0425 E-mail:kmt-soc@mail.joho-kyoto.or.jp

## ■品質工学とは

田口玄一博士が創始した品質工学は、欧米では「タグチメソッド」として広く知られており、パラメータ設計、機能性評価、MTシステムなど様々な手法を用いて、製造上のトラブルや市場クレームのないトータルとして損失の少ない製品づくりを支援します。我が国でも多くの企業で活用され、大きな成功事例が生まれています。

## (予告)平成20年度研究会 4月中旬募集開始！

平成20年度会員は、近日中に募集を開始します。昨年度入会されていた方におかれましても、引き続きの御参加をお待ちしております。

- 内容** 会員企業の課題に対する適用事例の研究討論及び指導  
品質工学初心者を対象とした基礎学習会 ほか
- 開催期間** 平成20年5月～平成21年3月の月1回
- 開催日時** 原則として毎月第2金曜日 13:10～17:00(別途 初心者のための基礎学習会を6月開催予定)
- 募集会員数** 40名程度
- 会費** 後日御案内します。

研究会の詳細はホームページ→<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/rea/sem/qua>をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
基盤技術課

TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497  
E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp